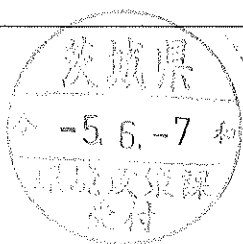


(第1面)



## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 7 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 水戸市城南2丁目7番14号

氏 名 株式会社 関 電 工

執行役員 茨城支店長 小 原 隆

電話番号 050-3133-2075

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 関 電 工 茨城支店
事業場の所在地	茨城県内工事現場（水戸市を除く）
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高（令和4年度実績） 21,612（百万円）
③ 従業員数	451 人（契約社員含む）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【別紙1 参照】

(日本工業規格A列4番)

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

【別紙 2 参照】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（ 令和 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	【別紙 3 参照】	
排 出 量	【別紙 3 参照】 t	6,177.497 t

各施工現場で排出される産業廃棄物については各々分別・選別を行い、排出量の削減及び有価物化率の向上に努めたが、期間中工事量増により、がれき類の排出が増え計画値より大幅に増加。しかしがれき類についてはリサイクル率≒100%を維持。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	【別紙 3 参照】	
排 出 量	【別紙 3 参照】 t	5,868.620 t

分別・選別による産業廃棄物排出量の削減を継続する。  
又、各種研修会への参加及び資格試験へのチャレンジなど、組織全体の意識高揚、知識向上を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

がれき類、金属くず・木くず、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずの分別が可能なものについては厳正に分別を実施。また、金属くず、木くず、廃プラスチック類については、有価物価率の向上に向けて重点的に活動中。

② 計画

上記取り組みと意識づけに関する教育を継続実施し、廃棄物発生量の削減、有価物価率の向上に努める。  
各品目 前年度の 5～10%削減を目標値とする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	【別紙4参照】	
	全 処 理 委 託 量	【別紙4参照】 t	6,177.497 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	【別紙4参照】 t	162.999 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	【別紙4参照】 t	6,148.715 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	【別紙4参照】 t	24.930 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	【別紙4参照】 t	t
	<p>年度内に件名工事にてがれき類が目標値を大幅に増加した。 また、電子マニフェスト非対応の会社があったため、紙マニ フェストが増え、電子マニフェスト化率が下がった。 その他項目に関しては、優良認定処理業者への委託及び、リサ イクル化率の高い業者への委託を優先して行った。</p>		

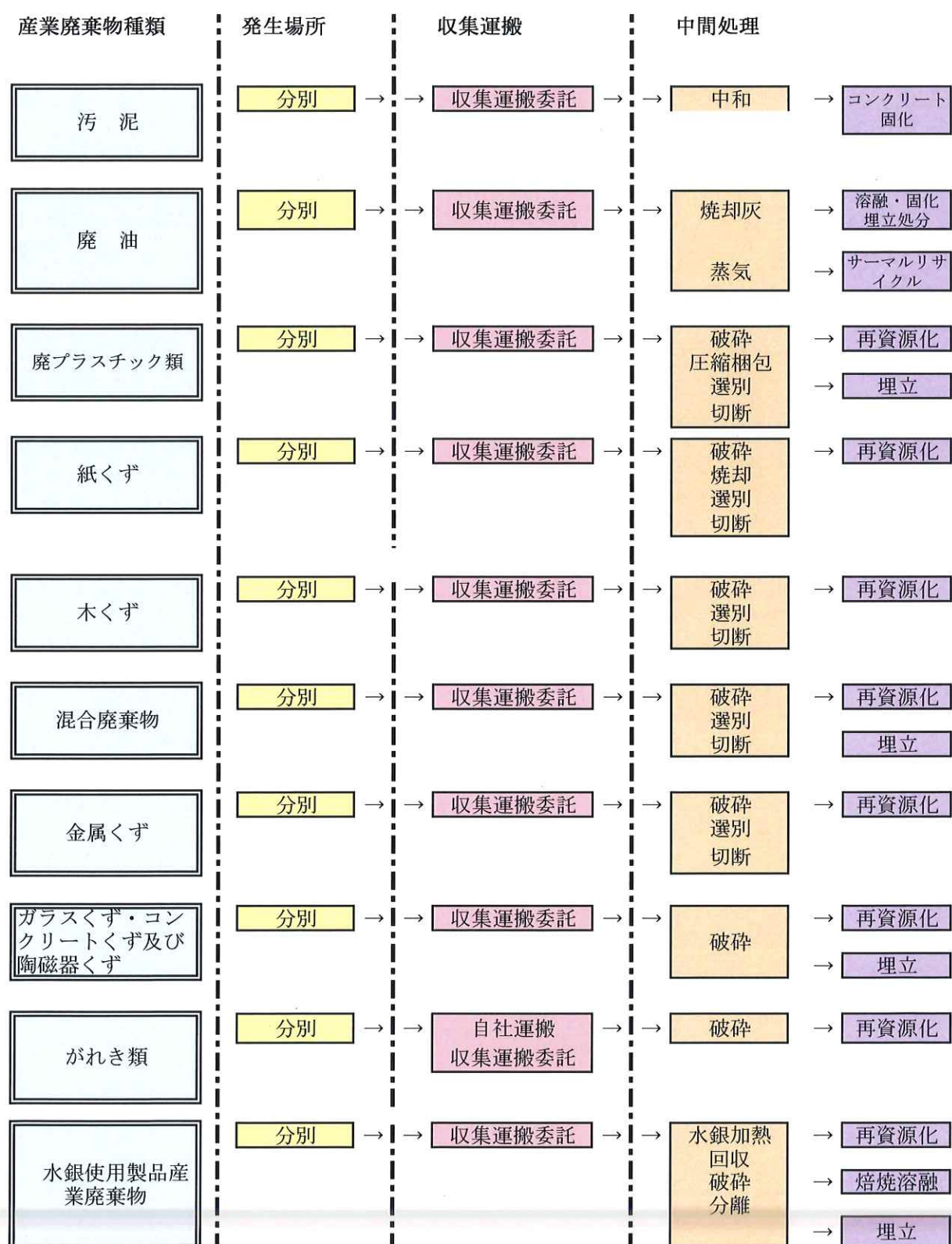
## (第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	【別紙4参照】 t	5,868.620 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	【別紙4参照】 t	154.846 t
	再生利用業者への 処理委託量	【別紙4参照】 t	5,841.246 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	【別紙4参照】 t	23.682 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	【別紙4参照】 t	t
	<p>産業廃棄物の効率的分別方法の検討、実施。          全ての項目については5%削減を目標とする。          廃棄物に関する講習会等へ積極的に参加し、意識づけと技量の          向上を図る。          中間処分場の実地確認を行うとともに、電子化率100%を          目標に行動していく。</p>		
	※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

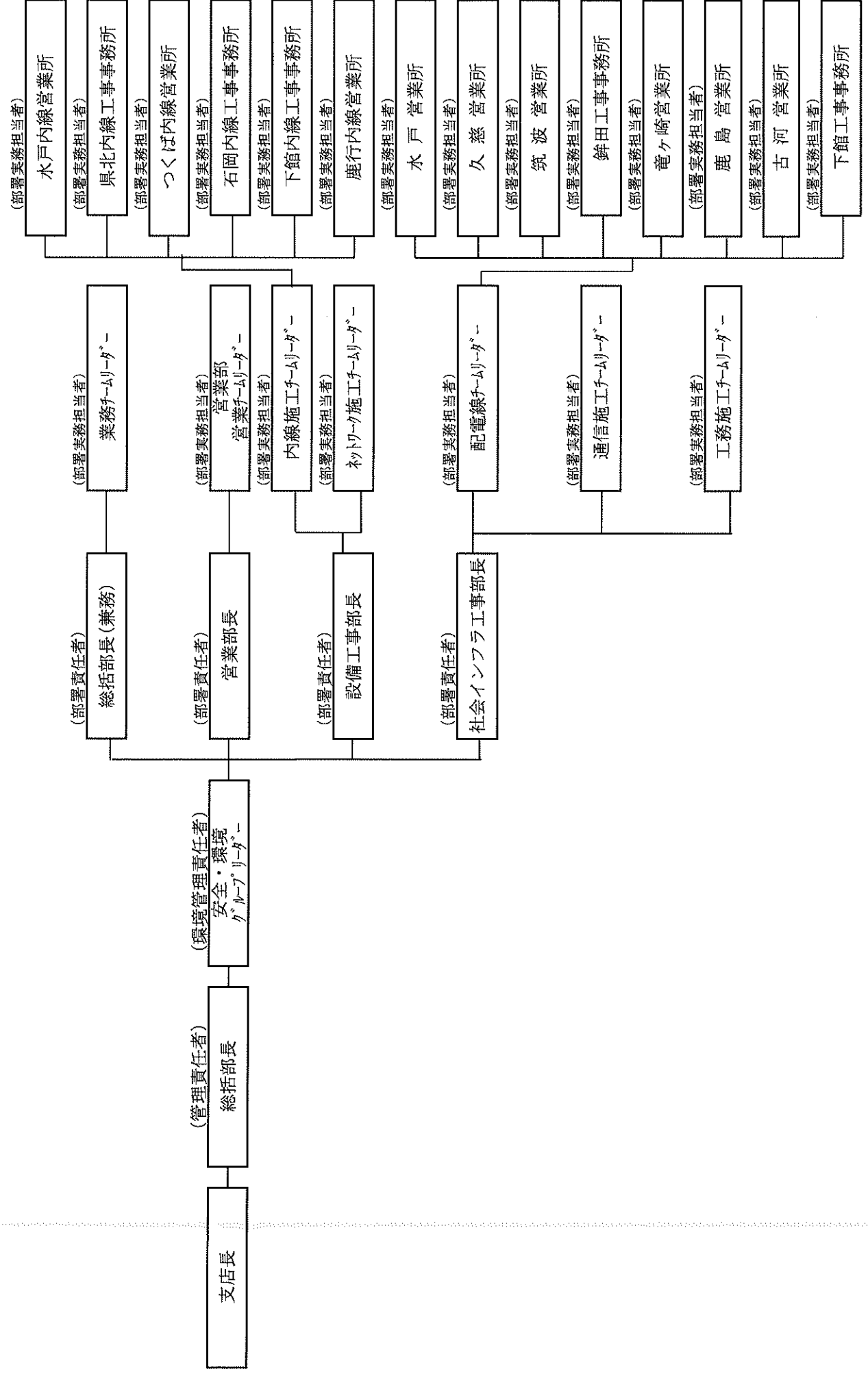
## ④産業廃棄物の一連の処理の工程







管理体制図





## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙3

番号	産業廃棄物の種類	①現状	②計画		備考 (5%削減)
		【前年度（2022年度）実績】	【目標】		
		排出量（t）	排出量（t）		
1	汚泥	0.012	0.011		
2	廃油	0.020	0.019		
3	廃プラスチック類	53.860	51.167		
4	紙くず	0.240	0.228		
5	木くず	33.835	32.143		
7	金属くず	46.236	43.924		
8	ガラス・コンクリート製品及び陶磁器くず	4.700	4.465		
6	建設混合廃棄物	40.610	38.579		
9	がれき類	5,996.640	5,696.808		
11	水銀使用製品産業廃棄物	1.344	1.276		
	計	6,177.497	5,868.620		



## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙 4

番号	産業廃棄物の種類	①現状					②計画				
		【前年度 (2022年度) 実績】					【目標】				
		全処理委託量 (t)	優良認定処理 業者への処理 委託量(t)	再生利用業者へ の処理委託量 (t)	認定熱回収業 者への処理委 託量(t)	認定熱回収業 者以外の熱回 収を行う業者 への処理委託 量(t)	全処理委託量 (t)	優良認定処理 業者への処理 委託量(t)	再生利用業者へ の処理委託量 (t)	認定熱回収業 者への処理委 託量(t)	認定熱回収業 者以外の熱回 収を行う業者 への処理委託 量(t)
1	汚泥	0.012					0.011				
2	廃油	0.020	0.020	0.020	0.020		0.019	0.019	0.019	0.019	
3	廃プラスチック類	53.860	11.290	53.530	10.960		51.167	10.725	50.853	10.412	
4	紙くず	0.240	0.090	0.240	0.240		0.228	0.085	0.228	0.228	
5	木くず	33.835	17.365	33.835	0.850		32.143	16.496	32.143	0.807	
6	金属くず	46.236	36.340	46.236	0.280		38.579	34.523	43.924	0.266	
7	ガラス・コンクリート 製品及び陶磁器くず	4.700	1.220	1.220	0.230		4.465	1.159	1.159	0.218	
8	建設混合廃棄物	40.610	30.210	16.960	12.350		43.924	28.699	16.112	11.732	
9	がれき類(建設廃材)	5,996.640	65.590	5,996.640			5,696.808	62.310	5,696.808		
10	水銀使用製品産業廃棄物	1.344	0.874	0.034			1.276	0.830	0.032		
	計	6,177.497	162.999	6,148.715	24.930		5,868.620	154.846	5,841.246	23.682	

